

# 学校清掃と生徒指導

— 「無言清掃」を実践する中学校3校への訪問調査から —

表 真 美

## 1. 研究の背景と目的

### (1) 学校清掃の「キャリア教育」としての教育的位置づけ

文部科学省が作成した「学校環境衛生管理マニュアル」の「大掃除」の項目には、「清掃については、児童生徒等により日常的に行われるものであるが、定期的に大掃除を行い、日常できない部分まで清掃を行う。」(下線は筆者による)とあり、児童・生徒による日常の学校清掃が自明のこととされている<sup>1)</sup>。しかし、教育的位置づけがなされたのは平成20年からで、小学校のみである。

平成20年告示の小学校学習指導要領において、「特別活動」における「学級活動」に「学校清掃」が明記されるようになった。平成29年告示の学習指導要領では、「一人一人のキャリア形成と自己実現」の「社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」として、「清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えて行動すること。」(下線は筆者による)とされている<sup>2)</sup>。このように、小学校において学校清掃は、「キャリア教育」としての教育的位置づけが見られる。加えて、小学校学習指導要領解説特別活動編においては、清掃活動(環境美化)は、「学級活動」だけでなく、児童会活動における委員会活動(環境美化)、学校行事における勤労生産・奉仕的行事の活動例(校内美化活動、地域社会の清掃活動、公共施設等の清掃活動)として挙げられている<sup>3)</sup>。

### (2) 学校清掃への批判

上述のように、教育への位置づけが明確ではないことを要因の一つとして、

特に中学校における学校清掃に、批判が向けられている。規律を重んじる児童・生徒への管理教育であり、清掃活動を「心を磨く」といった言葉にすり替えて、労働を児童・生徒に強制しているといった意見である<sup>4)</sup>。憲法学者の木村草太は対談のなかで、学校掃除が「苦役からの自由」(憲法18条)に反する恐れがあると述べている<sup>5)</sup>。また、「無言清掃」がマスメディアでとりあげるようになってから、学校清掃への批判はさらに広がった<sup>6)7)</sup>。「客観的には『無言清掃』の教育的効果など、論じるに値しないばかばかしい話」であり、地域への広がりには「従順な地方を育てる」との見方がある<sup>8)</sup>。また、無言で学校清掃を行うことは「コミュニケーションの機会を奪う」との批判がされている<sup>9)</sup>。

### (3) 生徒指導の一環としての学校清掃



図1 福岡市スタンダード (スタンバード・フレンドシープと令和3年度教育施策の扉)

このような批判がある一方で、学校清掃を教育の主眼とする小・中学校は少なくない。福岡市教育委員会は、「福岡スタンダード」3本柱の第1の柱として「生活習慣の柱：あいさつ・掃除」を挙げている<sup>10)</sup>。福岡市は、平成21年6月に策定された「新しいふくおかの教育計画」において、福岡の子どもたちに大切にしてほしいこととして「福岡スタンダード (あいさつ・掃除、自学、立志)」を盛り込んだ。あいさつ・掃除の活動に取り組むことで、子どもたちの基本的な生活習慣の確立につながる、との理由からである。とくに「掃除」は、「身の回りを整えるなどの基本的な生活習慣を形成するとともに、自分の役割を積極

的に果たそうとする態度を育てます。さらに、責任感や公共性などの伸長にもつながることが期待されます。」と説明されている<sup>11)</sup>。「教育スタンダード」を推進するキャラクターとしてスタンダードとフレンドシーブが誕生した。スタンダードは大きなくちばしで「あいさつ」を、ぞうきんで「掃除」を、えんぴつで「自学」を、鳥が羽ばたくイメージで「立志」を表している（図1）<sup>12)</sup>。学校清掃の充実に、長期にわたり力を入れて取り組んでいることがわかる。

一方、学校を変えて学びの効果を上げるためには「教室、学校全体を生徒にとってもっと居心地の良い空間」にすることが重要であり、自分たちの教室を「学びやすく、生活しやすく、美しく」することは「クラスづくりの極意」の一つとされる<sup>13)14)</sup>。また、長く教師を経験し現在は教職員の教育相談などをする吉田順は「ゴミは荒れとともにやってきた」し「ゴミは荒れとともに去った」、「教室をきれいにしておく指導ができる人の学級は、落ち着いた環境をつくれて荒れにくい」と述べる<sup>15)16)</sup>。

「無言清掃」に関しては、志水宏吉は福井県の学力が高く保たれている要因の一つとして、無言清掃により学校の規律が守られていることを挙げている<sup>17)</sup>。また、無言清掃を実践する福井県の中学校への取材では、教育効果の要因は無言清掃を含む「礼の心の育成」以外によるものもあるとしながらも、「(前略)授業中に、つまずいている生徒の気づきを待つときの、クラス全体の雰囲気がとても温かかったのも印象的だった。こうしたエピソードの一つ一つから、生徒たちの心の育ちが強く感じられた。」と報告された<sup>18)</sup>。

## (2) 小・中学校を対象とした訪問調査と研究の目的

報告者は、2019年度宗教・文化研究所研究助成を受け、2020年2月～3月に、批判のある「無言清掃」の現状と課題を明らかにすることを目的に、愛媛県、長野県、福岡県の小学校2校、中学校3校を訪問し、児童生徒、教師による学校清掃を視察、校長、教頭、清掃担当、生活指導担当教師に対し聞き取り調査を行った。

その結果、全国の多くの小・中学校が無言清掃を実施しているが、対象校で

は、一律に「無言清掃」として論ずることのできない多様な実践があることがわかった。当該調査では、①歴史的に継続して実施している例、②「自問教育」という一定の理念に従って実践する例、③学校の「荒れ」の解決のため取り組んだ例が明らかとなった。いずれも児童生徒の自主性を重んじており、管理教育との批判にはあたらなかった。しかし、学校をあげて熱心に取り組まれており、教師の負担が大きいことが明らかとなった<sup>19)</sup>。

そこで本研究では、無言清掃を実践するさらに異なる中学校を対象に訪問調査を実施して実態を明らかにし、無言清掃の教育的効果について考察することを研究の目的とする。

## 2. 研究方法

本研究では、2022年1月～2月に、無言清掃を実践する中学校3校を訪問し、校長、教頭、清掃担当、厚生担当教師に対し聞き取り調査を実施、生徒による学校清掃を視察した。先に報告した5校とは異なる地域の学校を選定した。いずれの学校も直接学校に連絡して調査を依頼し、承諾を得た後日程調整を行って訪問した。

訪問調査では、話の流れからすべてではないが、いつからどのように無言清掃が始められたのか、活動の目的と実際、活動の教育的効果、生徒・教師・保護者の反応などについて、聞き取りを行った。

### (1) 埼玉県川越立A中学校

2021年1月17日に学校訪問し、学校長に聞き取り調査を行った後、清掃の様子を視察後、校長、清掃担当教師に聞き取り調査を行い、教員研修用スライド等学校清掃に関する資料の提供を受けた。当校は都心から電車で1時間以内の近郊都市の住宅地に位置する生徒数約400名規模の学校である。

本校を対象としたのは、学校ホームページを対象としたスクリーニング調査により、教育計画の重点項目の一つに「洗心無言清掃」を挙げていたためである。



## (2) 岡山県立B中等教育学校

2022年2月21日に学校訪問し、厚生担当教師、学校長に聞き取り調査を行い、校長による学校だよりなど、学校清掃に関する資料の提供を受けた。当日は学校行事のため生徒による清掃が行われなかったため、活動は見られなかったが、学内を見学した。当校は生徒数1学年160名定員の公立中高一貫校であり、毎年卒業生が難関大学に入学する進学校である。

当校を対象としたのは、6年前に当中等学校を卒業し、現在大学院生である卒業生により、無言清掃が行われていたとの情報を得たためである。

## (3) 石川県金沢市立C中学校

2022年2月25日に学校訪問し、生徒、教師による学校清掃を視察した後、学校長に聞き取り調査を行い、学校の年間記録、活動の取り組みについてのポスター、昼の放送の原稿など、学校清掃に関する資料の提供を受けた。当校は金沢港近くの古くからの港町に位置する、生徒数450名規模の中学校である。

当校を訪問したのは、石川県の大学の教育学部教員より、熱心に無言清掃が行われていたとの情報を得たためである。

# 3. 研究結果

## (1) 各学校の無言清掃活動の教育計画への位置づけ

まず、各学校の教育計画における清掃活動の位置づけについて確認する。

A中学校では、教育計画の「重点」として「1. 防災教育」「2. 授業改善」「3. 生徒理解」とともに「4. 洗心無言清掃」があげられ、「特色ある教育活動の推進」とされていた。また、「洗心無言清掃」の具体的施策として、ア「洗心無言清掃」の進化・発展、マニュアル改訂、教職員研修、イ「朝読書」10分、始業前に着席し、読書開始、教職員も全員で実施、ウ 率先垂範・師弟同行の「洗心無言清掃」「朝読書」とされていた。

C中学校においては、「重点目標」((1) 学力の向上、(2) 豊かな心の育成、(3) 生徒指導の充実、(4) 安心して健やかな教育の充実、(5) 開かれた信頼

される学校づくり)における「(2)豊かな心の育成」の具体的項目として位置づけられており、「清掃とエコ活動の充実－無言清掃の徹底」とされていた。

B中等教育学校は、「学校経営計画書」に「清掃」「掃除」の文字は含まれず、「学校清掃」は教育計画には位置づけられていなかった。

表1 洗心無言清掃マニュアル目次

* 洗心無言清掃の理念・洗心無言清掃とは	…1ページ
* 清掃の意義	…3ページ
* 学校教育目標との関連	…3ページ
* 「洗心」について	…3ページ
* 洗心無言清掃～年間予定表～	…4ページ
1 清掃の心得	…6ページ
2 基本となる清掃の仕方	…6ページ
3 反省会の仕方	…6ページ
4 具体的な清掃の仕方	…7ページ
(1) 普通教室 (2) 廊下・流し (3) 昇降口 (4) 階段	
(5) A棟トイレ (6) B棟トイレ (7) 図書室	
5 清掃における注意点	…17ページ
6 + a について	…18ページ
7 清掃用具の管理・補充について	…18ページ
8 清掃取組表について	…18ページ
9 大掃除について	…18ページ
10 簡単清掃について	…18ページ
11 清掃班長会議について	…19ページ
12 縦割り清掃について	…19ページ
13 交流清掃について	…19ページ
14 ゴミの出し方について	…19ページ
15 洗心無言清掃体験について	…19ページ
16 3年生卒業後の清掃分担について	…20ページ
17 清掃巡回について	…21ページ
18 新聞による窓拭きについて	…21ページ

A中学校 HP『洗心無言清掃マニュアル』を元に筆者作成

によると、教職員研修、生徒向けガイダンスに始まり、小学校との交流(5・6年生の体験)、班長会議など、10件以上のイベントが綿密に計画されていた(表2)。4月と2学期中に定期的に計画される「教職員研修」は特徴的と考えられる。4月の研修のためのスライド資料には、学校教育目標「気づき、考え、実行する」との関連が、「(無言であるため)汚れに気づく、どうすれば

## (2) A中学校で実践される

### 「洗心無言清掃」

#### 1) 洗心無言清掃マニュアルと教職員研修

A中学校の学校HPには「洗心無言清掃」のページが設けられていた。ページには『『気づき 考え 実行する心豊かな生徒』の育成のために全校をあげて取り組んでいます。』とあり、「洗心無言清掃マニュアル」が公開されている。マニュアルは全21ページにわたり、理念・意義から年間予定表、大変具体的、詳細な清掃方法が述べられていた(表1)。

マニュアルにある「年間予

きれいになるのかよりよい清掃について考える、考えた行動を実行に移す+ a を実行する」(下線は筆者による)と述べられていた。また、清掃指導のスタンスについて、「清掃時間中に一切話さない」「清掃の身に神経を集中させる」「感謝の気持ちをもって学校をきれいにする」「師弟同行で取り組む(生徒と教職員が共通した意識を持つ)」との説明があった。

表2 洗心無言清掃～年間予定表～

時期	清掃行事	時期 清掃行事 活動内容や留意点など
4月 1週目	教職員研修 「洗心無言清掃 について」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃担当を中心に、前年度まで在籍していた教職員を中心に清掃方法を確認する。</li> <li>・清掃マニュアルの徹底を図る。</li> <li>※職員会議で清掃の全体計画等を説明し、別途設けられた研修の時間で洗心無言清掃の考え方について浸透できるように PowerPoint 資料等を活用する。</li> <li>・雑巾やほうきの基本について実演。</li> <li>※清掃担当と新年度赴任された教職員が共同して、基本的な清掃方法について確認する。</li> </ul>
4月 月上旬	清掃ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に50分間設け、清掃担当や環境委員会を中心に、洗心無言清掃の基本や掃除方法の変更点について全校一斉に周知する。</li> <li>※新学期に入ってからでは準備が慌しくなるので、前年度までにある程度の準備をしておく。</li> <li>※教員だけでなく生徒が発言・実演する機会も設けることで、全校一体で取り組む姿勢を示す。</li> <li>・清掃学活でそれぞれの清掃方法や留意点について、各清掃場所の担当教職員と清掃班長で確認する。</li> <li>・清掃ガイダンス終了後に洗心無言清掃が開始する。</li> </ul>
5月中 ～下旬	交流清掃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年と3年、2年と3年で清掃場所を入れ替える。</li> <li>※清掃場所を入れ替えて清掃を行うことで、先輩から後輩へと洗心無言清掃の伝統を継承できるようにする。</li> <li>・基本的な清掃の動きを確認する。</li> </ul>
6月	教職員版交流清掃①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員に割り振られている清掃担当を一定期間入れ替える。</li> <li>※教職員の意義を再確認し、資質向上に資するための取り組みとして昨年度より取り組みを始めた。</li> </ul>
7月 期末 テスト	洗心無言清掃体験①D小6年、 E小6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各清掃場所に1～2名を招き入れる。</li> <li>※A中学校区で行われている洗心無言清掃を、小中連携の一つととらえ、関係小学校と連携して取り組む。</li> <li>・小学生に教えられる技術や意識を見つけておく。</li> </ul>
7月 大掃除 前	全校清掃班長会議①(環境委員会主催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃班長を一斉に集合させ、通常の清掃方法と大掃除に向けた確認を行う。</li> </ul>

9月中 ～下旬	教職員版交流清 掃②	・教職員に割り振られている清掃担当を一定期間入れ替える。 ※反省会の時間を十分に確保し、全校で洗心無言清掃の質が高められるようにする。
10月 中間 テスト	D小5年、E小 5年	・各清掃場所に1～2名を招き入れる。 ・清掃の前後で小学生に指導する。 ※事前に清掃分担人数を小学校に伝えておく。
12月大 掃除前	全校清掃班長会 議②（環境委員 会主催）	・2学期を振り返って清掃の仕方を見直す。 ・大掃除に向けた確認。 ・来年度に向けた改善点や確認。 ※会議で出た協議事項や内容については、環境委員会新聞等を用いてフィードバックする。 ※昨年度は会議開会前に1、2年生向けの清掃班長向けの研修を行っており、そこで出た協議事項の確認・評価を行っていった。
2学期 中	教職員研修 「洗心無言清掃」	・洗心無言清掃を振り返り、生徒の様子を教職員同士で評価しあう。 ・検討材料はほうき、雑巾、反省会の様子といった基本事項に限定させる。 ※取り組みを計画的に行うことによって、教職員から洗心無言清掃の意識を高め、生徒にフィードバックすることをねらいとして行う。
1月 下旬	清掃精鋭隊の結 成	・私立受験合格者の中から清掃に関する精鋭を募り、日替わりで1、2年生の清掃場所へ行き掃除する。 ※1、2年生に清掃意識の引継ぎを行う。
2月公 立受験	洗心無言清掃体 験③F小6年	・2年生の清掃場所を中心に招き入れる。 ※最上級生になることの自覚と伝統継承の意識付けを行う。 ・清掃の前後で小学生に指導する。 ※3月初旬にD小5年の清掃体験が入ることもある。
3月大 掃除前	全校清掃班長会 議③（1、2年 生のみ）（環境 委員会主催）	・1年間を振り返ったうえで清掃の仕方を見直す。 ・大掃除に向けた確認。 ・来年度に向けた改善点や確認。

A中学校 HP「洗心無言清掃マニュアル」を元に筆者作成

## 2) A中学校長、教頭、清掃担当教員への聞き取り調査

### a. 無言清掃のきっかけ

洗心無言清掃の始まりについて、学校長によると、マニュアルには2008年ごろとあるが、学校長によると、20年ほど前にA中学校に教員として勤務していた時から学校清掃に力を入れていた。「師弟同行」との理念をもち教職員が心一つにして、清掃を行っていた。生徒指導上の課題があったので、解決する手立てとして力を入れ始めた。川越市には22校中学校があるが、A中学校が始めてから近隣の学校に広まり、現在では市内の半分以上の学校が無言清掃を実

践している。前任校ではA中学校を視察して「無言清掃プラスワン」という形で実施している、とのことであった。

b. 清掃活動の目的、効果

清掃活動の目的、効果については、学校長によると、以下通りであった。

決められたルールはあるものの、言われなくとも主体的に判断して実践し、達成感を得ることで、子どもの心をはぐくむことが出来ている。自身の学校を自身できれいにすることにより、やりがいも出て居心地がよくなり、学校への愛情が沸き、誇りが持てるようになる、また、前向きな気持ちになり、帰属意識が高まる。さらに、学校の伝統や特色につながっており、地域の人たちからも信頼感を持ってもらえる。清掃活動が学校に根付いているのは、このような目的が達成されているためである。

c. 清掃活動の運営、小学校との連携

清掃活動については、清掃担当の先生は、2018年に赴任し掃除担当になった。2017年までは詳細なマニュアルはなかったが、前任の担当者がマニュアルを作成した。年度初めに学年ごとに50分の清掃ガイダンスをコロナ感染拡大前は体育館で実施していた。2018年から小中連携の一環で3校の小学校を対象に研修を行うようになった。小学校長と清掃担当が児童に話をし、清掃場所において実際に清掃をしている。2年間で2回研修を行う。小学校も無言清掃を実践しており、9年間を見据えた清掃活動を目標としている、とのことであった。

d. 保護者、教職員、生徒の意識

保護者、教職員、生徒の清掃活動に対する意識については、保護者は子どもたちが自分たちできれいにしていることを好意的に理解している。新しく赴任する教職員は赴任前から「A中は清掃」というイメージを既に持っているため戸惑いはない。市外から赴任する教職員は、最初戸惑うが、学校教育目標の一環として、特色ある教育として行っていることを理解してもらう。教職員研修において映像による説明を受け、基本的な掃除の仕方を理解している。生徒については、進学先の高校が汚いなどと話す卒業生がいる、掃除が行き届いた母

校を誇りに思っている、とのことであった。

### 3) A中学校における無言清掃の見学

A中学校の無言清掃は放課後に行われていた。教師、生徒にはマニュアルが徹底されている。「師弟同行」の言葉通り、教師も無言で一心に清掃活動に取り組む姿が大変印象的であった。

## (2) B中等教育学校における無言清掃

### 1) 清掃活動の実際

訪問当日は清掃活動がなかった。校長により校内を案内されたが、無言清掃を行っている他の学校と同様、学校内は、教室、廊下、校庭わきのクラブ室まで、大変きれいで整然としていた。厚生担当教師によると、普段の清掃活動は以下のとおりに行われるとのことであった。

1・2・3年生は掃除を授業終えて5分休憩後、10分間清掃を行い、その後ホームルームを行う。教室以外の持ち場は、年度当初に分担を決める。4・5・6年生は、授業が終わって5分休憩（移動含む）、その後10分間掃除をして終業する。3時半に7限目が終わる。中学校は4時下校、高校は3時45分には終業（部活動があるものは部活動）する。清掃のために着替えはしない。生徒に掃除に関する記録をさせたりすることはないが、各々の担当教師は、清掃への生徒の出欠、清掃終了のチェックシートをつけてきっちり指導を行っている。

また、B中等教育学校に現在の学校長が赴任したのは、2021年4月であった。学校長から提供された学校長自らの手書きの学校だより「成長」35号によると、中庭を掃除する生徒の写真に、「B中学校にきて思うこと、皆さんが全員一生懸命そうじすること、ありがとう!!」とあった<sup>20)</sup>。本校は、上述のように学校経営計画の中に清掃活動が位置付けられていないが、熱心な清掃活動が行われていることがうかがえた。

### 2) 厚生担当教師への聞き取り調査

#### a. 無言清掃のきっかけ

厚生担当教師によると、熱心な清掃活動のきっかけは、初代学校長の指導に

よるものである。B中等学校は、平成22年にB高等学校を母体に設立された。設立時は周囲から注目される存在であった。また、中等学校の狙いは進学実績を上げることであるが、勉強だけでなく、生活面もきちんとさせようとしたことが、学校清掃に影響を及ぼした。B中等学校に受け継がれているB高等学校の校訓が「師弟同行」であり、教師も生徒とともに清掃に取り組んでいた、とのことであった。

#### b. 清掃活動の現状

厚生担当教師によると、必ずしも無言でやろうという指導を現在は行っていないが、一期生たちが一生懸命行っていた掃除の伝統は、今も受け継がれている。進学校であるにもかかわらず、掃除を熱心に行う習慣が形成されていると思う。外部から赴任した教師は「よくするなあ」という印象をもつ、しかし、本校の特徴であるとは認識はしていない。新入生徒、進入教師に、特別に掃除に関する研修などはない。

また、厚生担当教師は、「厚生課長」の立場であり、奨学金をはじめ、保健、防災の担当も行っているが、清掃は自分自身一生懸命取り組んでおり、担当学年（1年生）には雑巾がけもさせている。その基礎にはB高等学校らの学校の理念である「師弟同行」である、とのことであった。

#### c. 保護者、生徒の反応、その他地域の現状について

保護者がB中等学校の清掃活動をどう考えているかについてはわからない。生徒は、頭さえよければよい、とは考えておらず、（清掃活動もきっちり行う）そういう人間でありたいと思っている。岡山市の他の学校では、「無言清掃」などは聞いたことがない、とのことであった。

### (3) C中学校における無言清掃

#### 1) C中学校における無言清掃の視察

C中学校では、始業前（8：25～8：35）の10分間、無言清掃が行われていた。訪問当日は8時ごろに学校に到着し、生徒が「無言清掃」活動を行っているところを視察させて頂いた。机を寄せて床を雑巾がけする等、生徒たちは集



中して清掃を行っていた（写真1）。



写真1 C中学校での無言清掃の様子

## 2) 学校長への聞き取り調査

### a. 無言清掃のきっかけ：永平寺中学校への視察

学校長によると、前任校において主幹教諭だった際、教育長の進言により福井県の「永平寺中学校」に、生徒指導教諭とともに視察に行った。生徒は一言もしゃべらず、授業が終わってすぐ掃除場所に行き、掃除の時間を終えて整理をして、清掃監督の先生のもとで教室に戻っていた。終礼では私語はなく、動いている生徒もいなかった。

前任校は学力の低い学校だった。学力はすぐには上がらないが、生徒の日常の学校生活が、きっちりしたものにならないか、どうしたら指導が徹底できるかを学ぶため、永平寺中学校に視察に行った。永平寺中学校の取り組みは「無言清掃」だけではない。校門の礼、授業前の黙想、無言清掃、登・下校時に生徒は校門の前に止まり、下校するときは校舎に深々と一礼して帰る。授業前の黙想はシーンとしていた。一日の終わりに無言清掃を行っていた。視察の際、校長先生にどういういきさつで導入されたか尋ねると、学校がとても荒れていて、若い先生が中心になってこの学校を立て直したいと指導の徹底を始めた、とのことであった。それが長年続けられているところに感銘を受けた。

そこで、前任校でも「無言清掃」に取り組んだ。生徒たちは、私語なく行おうと掃除に打ち込むようになった。生徒と教師が心で通じ合う会話など、様々な取り組みを行った。校舎も綺麗になり、生徒は笑顔で、挨拶ができていた、学校の雰囲気が落ち着いている、と言って頂いた、とのことであった。

b. C中学校に赴任して以降の取り組み

学校長によると、校長としてC中学校に赴任すると、様々な問題があった。落ち着かせるために、3つの学校生活の基本「1. 時を守り（登校、完全下校、ベル号令、提出物、給食・清掃・朝礼終礼の開始や終了など）、2. 場を清め（清掃時間、きれいなトイレ、机やロッカー内の整頓、下足箱のズックの置き方（かかとそろえ））、3. 礼を正す（元気で大きな声での挨拶、廊下での会釈、職員室の入退出、C中生らしい服装・髪型）」を打ち出した。また、「5S活動：整理（いらないものは捨てましょう）、整頓（必要なものがすぐ取り出せるように）、清掃（身の回りを掃除しましょう）、清潔（きれいな状態を保ちましょう）、躰（ルールを守りましょう）」も行い、廊下など目のつくところにポスターを貼っている（写真2）。



写真2 C中学校での清掃に関するポスター

整美委員会が掃除の仕方を生徒に指導している。給食の時間の放送で、整備委員長から無言清掃の意味について説明してもらっている。教師が言うよりも、生徒から訴えたほうが生徒に入るだろう（表3）。

表3 給食の時間に整美委員長が行った放送の原稿

12月1日（水）昼の放送 放送担当：整美委員会委員長	12月6日（月）昼の放送 放送担当：整美委員会委員長	2月21日（月）昼の放送 放送担当：整美委員会委員長
<p>整美委員会から全校生徒の皆さんへお知らせします。</p> <p>12月に入りました“師走”、一年の締めくくりの月です。</p> <p>2週間前の放送で、清掃への取り組みについて話しましたが、改めて『無言清掃』について確認します。</p> <p>一日の始まりに、毎日使っている校舎に感謝の気持ちを込めて、“無言”で清掃に取り組む。</p> <p>10分間、ただひたすらにもくもくと雑巾がけに取り組む。これが『無言清掃』です。“無言”ですから、当然、清掃時間中にはおしゃべりはしません。</p> <p>校舎と向き合い、自分と向き合う時間です。“校舎は自分の心の鏡”です。美しく磨き上げれば、心も晴れます。清掃後の反省会を含めた10分間を終え、<b>「今日も頑張るぞ！」</b>「放課後の部活動を頑張ろう」という、意欲や活力がみなぎってきます。『学校生活の基本』の一つに、“場を清め”があります。校舎をきれいに保てば、心も落ち着き、新しい目標や発想が浮かんできます。</p> <p>最近の清掃時の様子をお伝えします。</p> <p>3年生は、さすが最上級生ですね。多くの生徒が『無言清掃』に取り組んでいます。</p> <p>2年生は、大多数の生徒は清掃に一生懸命に取り組んでいますが、残念ながら私語が目立ちます。全校で目指す『無言清掃』実現には、2年生の頑張りが必要です。</p> <p>1年生は『無言清掃』を理解しようと一生懸命に取り組んでいる様子が伝わってきます。</p> <p>今一度気持ちを引き締め、440名のC中学校全員で、この学び舎を磨き上げましょう。</p> <p>以上、整美委員でした。</p>	<p>整美委員会から全校生徒の皆さんへお知らせします。</p> <p>いつも校舎を大切に使用してくれてありがとうございます。</p> <p>3週間前、校内代放送を通じて、初めて『無言清掃』のとりくみについて、全校生徒の皆さんに投げかけました。</p> <p>あれから3週間、朝の掃除の様子はどうか？整備委員会が達成したい取り組みには、まだまだほど遠いのが現在の状況です。</p> <p>今日は、目指す『無言清掃』実現に向けて、具体的な取り組みをお伝えします。</p> <p>1点目、清掃開始のチャイムがなったら、そうじが始まっている。</p> <p>2点目、とにかく10分間、しゃべらずに掃除に取り組む。</p> <p>3点目、そうじのポイントは、教室も廊下も階段も、一番最初にもくもくと隅々を雑巾で拭く。ホウキで掃く。を行う。</p> <p>明日の朝の掃除から、この3点について、全校生徒全員で取り組みましょう。</p> <p>以上、整美委員からでした。</p>	<p>整美委員会から全校生徒の皆さんへお知らせします。</p> <p>いつも校舎を大切に使用してくれてありがとうございます。</p> <p>昨年11月、校内放送を通じて、初めて『無言清掃』のとりくみについて、全校生徒の皆さんに投げかけました。</p> <p>あれから、朝の掃除の様子はどうか？整備委員会が達成したい取り組みには、まだまだほど遠いのが現在の状況です。</p> <p>今日は改めて、目指す『無言清掃』実現に向けて、具体的な取り組みを確認します。</p> <p>1点目、朝礼後、直ちに清掃場所に移動し、清掃をはじめ。</p> <p>2点目、清掃開始のチャイムが鳴ったら、そうじが始まっている。</p> <p>3点目、とにかく10分間、しゃべらずに掃除に取り組む。</p> <p>4点目、掃除のポイントは、教室も廊下も階段も、一番最初に隅々を雑巾で拭く、ホウキで掃く。を行う。</p> <p>今一度、明日の朝の掃除から、この4点について、全校生徒全員で取り組みましょう。</p> <p>以上、整美委員からでした。</p>

校長より提供された資料により筆者作成

意識が変わらないと清掃活動の質は上がらない。職員に対しても、職員室にポスターを貼り、「5S」に取り組んでもらっている。先生方ははじめ拒否反応を示し、職員室は雑然としていた。まだ実現できていないが、先生方が働きやすい、居心地が良い職員室の空気感を作りたい。職場で過ごすときはオンの時間なので、機能的になればよい。

整美を担当する先生の意識、想像力、学校に対する熱い思いがあるかないかで活動の様子が変わる。学校長自らが毎朝玄関に立っていると、生徒たちは下足箱の靴のかかをとを整える。校長・教頭、教師・生徒が入れ替わってもこの取り組みが続き、向上するような学校にしなければならないと考えている、とのことであった。

#### c. 清掃活動の実際

学校長によると、年度初めに、整美委員担当の教師が各クラスの掃除と、監督の先生の割り当てを行う。月1回委員会が開かれ、清掃道具の点検や交換を行っている。職員室は教師が清掃し、職員トイレは業者に委託している。年度初めに、教員には清掃方法についてどのように教示するのか、1年生に対しては清掃のオリエンテーションを行う。清掃は朝行うが、毎日簡単な反省会を終わりの会に行っている。

始業前に清掃を行うのは学校の伝統であり、授業の前に掃除をして、綺麗な校舎で過ごし、毎日使う校舎に感謝の心を持ち、大切に使うという趣旨である。校舎と対面しながら、汚れているところを清掃する。校舎は自分の鏡であり、美しくなれば自分も磨けると考えている、とのことであった。

#### d. 無言清掃の教育的効果について

学校長によると、身の回りのことがきちっと出来ないと勉強もできない。教育的な効果は間違いなくある。清掃指導だけでなく、給食指導、配膳、手洗い、感謝の気持ちを持つことなども、大切な教育の場面である。使う前以上に綺麗に整えて返すことが大切である。現在、先生方はこの方針を受け入れてくれていて、効果があがっている、とのことであった。

## 4. 考察

先行研究である上述の5校の学校訪問の際は、清掃実践の方法を重点的に明らかにしたが、今回は無言清掃を始めたきっかけや教育的効果が明確になるように努めた。3中学校が無言清掃を始めたきっかけは、状況は異なるが、3校とも生徒の生活面での規律を整えるためであった。生活面の規律を整えることが、生徒指導に役立つだけでなく、学業面へも影響を及ぼす、ということが3校に通じる考えであった。A中学校は20年以上前に遡り、始めから「無言清掃」と言うことではなく、「師弟同行」の精神で、教師も生徒と共に熱心に清掃活動を行うようになり、「無言清掃」に発展した。B中等学校は、2010年にB高等学校から公立中等学校に移行する際に、生徒は周囲からの注目を受ける存在であるため、進学校としての学業だけでなく、生活面でも規律を保つことが目的であった。また、C中学校は、学校長が隣県の「無言清掃」で有名な中学校に視察に行き、前任校で実践していた。校長として赴任したC中学校では、生徒指導上の問題の解決のため、様々な生活面の指導とともに、「無言清掃」を導入していた。

A中学校では、21ページにわたる大変詳細なマニュアルが作成されており、改訂が加えられていた。また、新任教師用の研修スライドがあり、さらには、小中連携による9年間の指導が試みられていた。A中学校を中心とした取り組みは、近隣の学校への影響を及ぼし、川越市の約半数の中学校では「無言清掃」が行われているとのことであり、20年間に活動が周辺に広がっていた。

B中等学校は、これまで複数見られた「学校の荒れ」がきっかけではなかった。教育計画にも含まれておらず、聞き取り対象である厚生担当教師は「無言清掃」であることを強調していなかったが、チェックシートなども導入しており、熱心な取り組みが中等学校発足当初から10年以上続いていると見られる。学業だけでない生徒の質の良さが、受験生増加に役立っており、継続の一因となっているのかもしれない。

C中学校は、学校長の強いリーダーシップの下で、他の生活面の指導とともに

に「無言清掃」が行われていた。当学校長は、初めて校長として赴任したC中学校を向上させるために、2年間の綿密な学校計画を立てており、自身が他校へ転勤になった後も、改革が定着し続けるように奮闘していた。毎朝玄関に立ち、生徒に挨拶するとともに、生徒が靴のかかとを揃えることを見届けるなど、大変熱心であった。筆者が朝一番で学校訪問した折に、実際にそのような光景を目にした。このような学校長の熱意が、教師や生徒の共感を呼び、清掃活動が行われていると考えられる。

実際に生徒への聞き取りやアンケートを行ったわけではないため断定することはできないが、A中学校、B中学校では「無言清掃」が長年にわたり継続して続けられていることから、何らかの教育的効果が生まれていると考えられる。A中学校長の「自身の学校を自身できれいにすることにより、やりがいをもって居心地がよくなり、学校への愛情が沸き、誇りが持てるようになる、また、前向きな気持ちになり、帰属意識が高まる。さらに、学校の伝統や特色につながっており、地域の人たちからも信頼感を持ってもらえる。」と言う発言や、C中学校の「授業の前に掃除をして、綺麗な校舎で過ごし、毎日使う校舎に感謝の心をもち、大切に使う（ことが大切）。身の回りのことがきちっと出来ないと勉強もできない。」との発言は、説得力があった。

## 5. まとめと今後の課題

近年管理教育との批判が強まる「無言清掃」の実態と教育的効果を明らかにするために、埼玉県、岡山県、石川県の中学校3校への訪問調査を行った。

埼玉県の中学校では、極めて詳しいマニュアルが作成され、実践がシステム化されて、近隣の地域にも実践が広がっていた。岡山県の中等学校は進学校であったが、学業だけでなくプラスアルファとして生活面での指導が行われていた。また、石川県の中学校では、学校長の強いリーダーシップの元、生徒指導上の問題解決のため、「無言清掃」が進められていた。実践が長く継続している、また、学校長のリーダーシップの元、教師や生徒の協力が得られていることか



ら、いずれの学校でも、教育的効果が上がっていることが推察出来た。

今後は「無言清掃」を実践する生徒に対する客観的な評価を行いたい。

## 謝辞

今回の学校訪問の依頼に快く応じ、調査のために貴重な時間を割き、また重要な資料をご提供いただいたA中学校、B中学校、C中学校の先生方に心より感謝申し上げます。

## 文献

- 1) 文部科学省 (2018)「第Ⅱ章学校衛生基準 第3学校の清潔、ネズミ、衛生害虫等及び教室等の備品の管理に係る学校環境衛生基準 1学校の清潔 (1)大掃除の実施」『学校環境衛生管理マニュアル 学校衛生基準の理論と実践 平成30年度改訂版』、106
- 2) 文部科学省 (2017)「第6章特別活動 第2各活動・学校行事の目標及び内容 学級活動 2内容 (3)一人一人のキャリア形成と自己実現イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解」184
- 3) 文部科学省 (2017)「第3章各活動・学校行事の目標及び内容 第2節児童会活動 3児童会活動の指導計画 (6)児童会の計画や運営と活動の形態 (イ)委員会活動 「第4節学校行事 (5)勤労生産・奉仕的行事 ①勤労生産・奉仕的行事のねらいと内容」『小学校学習指導要領解説特別活動編』
- 4) 杉原里美 (2019)「心を磨く学校？」『掃除で心は磨けるのか 今学校で起きている奇妙なこと』筑摩書房、16-45
- 5) ハフポスト HP「運動会の巨大ピラミッドに拍手する日本人の人権意識はおかしい」健保学者・木村草太さんに聞く“子どもの守り方”(2019年1月19日配信)  
[https://www.huffingtonpost.jp/2019/01/16/sota-kimura-interview\\_a\\_23643888/](https://www.huffingtonpost.jp/2019/01/16/sota-kimura-interview_a_23643888/)  
(入手日：2022年8月25日)
- 6) 西日本新聞 HP「学校のハテナ (1) 掃除 なぜ黙々とするの」(2017年5月9日配信)  
<https://www.nishinippon.co.jp/item/n/327076/>  
(入手日：2022年8月25日)
- 7) 朝日新聞 Digital「ひたすら「無言清掃」小中学校で広がる どんな意味が？」(2020年2月16日配信)



- <https://www.asahi.com/articles/ASN2G4D05N2GPTEL00V.html>  
(2022年8月25日閲覧)
- 8) 北村上 (2019) 「無言清掃と「藩閥」意識」『教育』887、77-81
  - 9) 苦野一徳 (2019) 「「無言清掃」「無言給食」?」『ほんとうの道徳』トランスビュー、138-141
  - 10) 福岡市 HP 「令和4年度福岡市の教育施策」  
[https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/23520/1/R4\\_fukuokashinokyoikusesaku.pdf?20220421192219](https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/23520/1/R4_fukuokashinokyoikusesaku.pdf?20220421192219)  
(2022年8月25日閲覧)
  - 11) 福岡市 HP 「これからの福岡市の教育がめざす姿～教育スタンダード」  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/64009/1/03mezasukodomozou.pdf?20191223140747>  
(2022年8月25日閲覧)
  - 12) 福岡市 HP 「福岡スタンダード推進キャラクター「スタンバード」と「フレンドシ」  
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/k-seisaku/ed/stanbird.html>  
(2022年8月25日閲覧)
  - 13) 岩瀬直樹 (2011) 「劇的ビフォーアフター 教室リフォームプロジェクト」『「最高のチーム」になる! クラスづくりの極意—ほくら、先生なしでも大丈夫だよ』農山村文化協会、16-26
  - 14) 岩瀬直樹 (2019) 「教室、学校全体を生徒にとってもっと居心地のいい空間に」吉田新一郎、岩瀬直樹『シンプルな方法で学校は変わる 自分たちにあったやり方を見つけて学校に変化を起こそう—効果10倍の〈学び〉の技法 相補改訂版—』、みくに出版、219-223
  - 15) 吉田順 (2019) 「教室がすぐに汚くなるがどうすればいいか」『あれへの不安がにわか指導につながる』学事出版、162-169
  - 16) 吉田順『学級経営17の鉄則』学事出版
  - 17) 志水宏吉ほか (2014) 「無言清掃」『福井県の学力・体力がトップクラスの秘密』中公新書ラクレ、114-118
  - 18) 教育ジャーナル2015 10月号「第2特集学校を訪ねて 無言清掃。その徹底ぶりから見えるもの」34-37
  - 19) 表真美 (2022) 「学校清掃の現状と課題：黙って行方指導に注目して」『京都女子大学共食支援センター研究紀要』4、9-16

受付日 令和4(2022)年9月15日 採用日 令和4(2022)年12月25日

<キーワード>

学校清掃 生徒指導 無言清掃 中学校